

03 木曽ひのきに触れるワークショップ

- 【日 時】 令和2年11月21日(土)～22日(日)
【会 場】 愛知県名古屋市 名古屋市科学館 生命館6階 第2実験室
【内 容】 以下のとおり

この事業は、以前より木曽川上下流交流事業で関わりのある「水源の里を守ろう 木曽川流域みんなの会」の設置した「水源の里基金」を活用し、木曽青峰高校の生徒が製作した木工品の寄贈先の1つである名古屋市科学館との共同事業として企画したもので、今回は昨年引き続いて2回目の実施となります。なお、当初の計画であれば長野県「地域発 元気づくり支援金」活用事業として実施する予定でしたが、新型コロナウイルス感染症拡大により併せて支援金活用事業として計画していた「夏休み親子体験ツアー」を中止したことで、対象事業経費が下限を下回り、支援金の対象外となってしまったため、全額自主財源にて実施しました。また、同感染症拡大により、当初予定していた参加者人数を半減(各回16組32名×全3回⇒8組16名×全3回)した上での開催となりました。

当初は夏休みの親子を対象に平日の開催を計画していましたが、前述の通り一度延期となってしまったため、土日の開催としました。参加者の募集方法としては、名古屋市科学館にチラシを設置した他、同館のホームページにて周知する対応をしていただき、結果各回定員8組16名(当初予定では16組32名)のところ、すべての回で定員を上回る応募(多い回では定員の4倍近い応募)があり、昨年同様抽選で参加者を選定することとなりました。開催間近にキャンセルをされる方や、当日無断キャンセルされる方もいましたが、3回合計で20組40名の方にご参加いただきました。

(その他、見学に見えていた名古屋城総合事務所の職員や名古屋市科学館のスタッフにもワークショップを体験していただきました。)

昨年実施した際は、各回16組の参加者に対して実験器具が8台であったため、同じテーブルに座った参加者が交代で実験するしかなく、実験をしていない親子が手持ち無沙汰になってしまうという反省点がありました。そのため、今回は上松町地域おこし協力隊にも協力を依頼して、実験の順番待ちをしている親子にはひのきのボンボンづくりに取り組んでいただくよう計画をしました。

(実際今回は参加者を半減させたため、全員で実験したのち全員でボンボンづくりに取り組んでいただける形となりました。)

まず、実験等に入る前に、名古屋市と木曽地域の歴史的・産業的なつながりについてと水源地である木曽の森林が果たす役割についてパワーポイントのスライドを使って説明を行いました。その後、ひのき精香株式会社代表取締役である吉川正樹氏より、木曽ひのきの特性や工場で生産しているひのきオイルについて、山林での仕事について等お話をいただき実験に移りました。

実験の流れ、実験器具の使い方等を名古屋市科学館学芸員の山田吉孝氏より説明を受けた後、実験を開始しました。吉川氏に用意していただいたひのきチップを80ml程度と蒸留水100mlを枝付きフラスコに入れ、ガスバーナーで加熱していくと、徐々に沸騰し始め、ひのきオイルとひのきの香りが移った水蒸気が吹き出てくる仕組みです。吹き出た水蒸気はゴム製のチューブを通して、氷水入りのビーカーに入れられた試験管内で冷やされて液体に戻り、およそ20分程度で試験管の半分くらいの量(およそ20ml、スプレーボトル2本分)を取り出すことができました。なお昨年は、枝付きフラスコの枝部に直接試験管をつなぎ水蒸気を回収していましたが、試験管を取り外す際に危険を伴うため、今回は間にゴムチューブを介して実験を行いました。完成した液体は、スプレー

ボトルに詰め替えてお持ち帰りいただいたほか、ひのきチップも不織布袋に入れて持ち帰っていただきました。

次に、上松町地域おこし協力隊員の指導の下で木曽ひのきの鮑屑からボンボンづくりに取り組んでいただきました。木曽ひのきの鮑屑をブラックウォールナットの型板に2本分巻き付け、型板を引き抜いた後に中心部をタコ糸で固結びして両端の輪状部分を鋏で切り、重なりを解しながら割いていくと、徐々に球状のボンボンが出来上がっていきます。きれいな形になるよう、鋏で余分なところを切って整形し、リボンをタコ糸へ結んでタコ糸をもう一度固結びしたら完成となります。こちらもアロマオイル同様お持ち帰りいただきました。

全ての体験が終了したら、「水源の里を守ろう木曽川流域みん・みんの会」の河崎典夫氏または近藤進氏より、水源の里基金を利用した木曽青峰高校の生徒による木工作品の寄贈についてなどを含む、同会の活動についてパワーポイントを使って紹介していただきました。

最後にアンケートの記入を依頼し、アンケートを回答してくださった参加者には木曽の水をプレゼントして終了となりました。アンケート結果については別紙の通りとなっております。

なお、22日のみ名古屋市科学館のボランティアスタッフにも運営をお手伝いいただいたほか、22日午前の部のみ名古屋城総合事務所の西浦氏にご見学いただきました。

令和2年度地域間交流事業
☆当日の様子



森林整備啓発講義（広域連合）



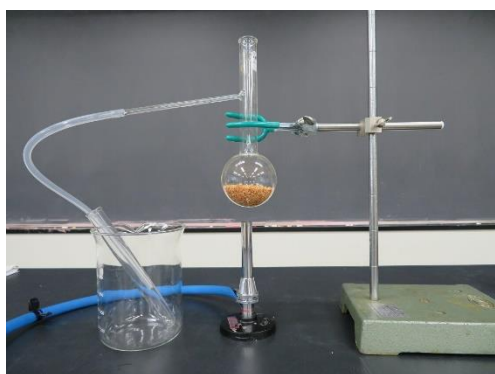
実験について説明（科学館山田氏）



木曽ひのきについて説明（ひのき精香(株)吉川氏）



アロマ抽出実験①（使用したひのきチップ）



アロマ抽出実験②（実験器具全体）



アロマ抽出実験③（実験に集中する参加者）



ボンボンづくり説明（上松町地域おこし協力隊）

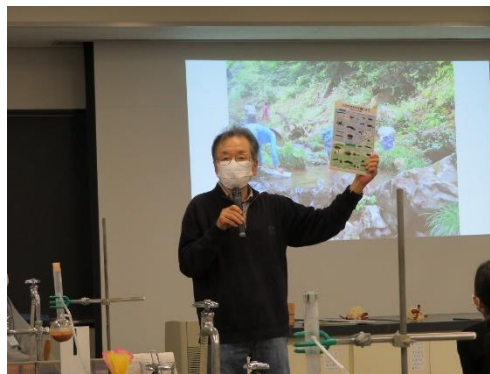


ボンボンづくり①（親子で共同作業）

令和2年度地域間交流事業



ボンボンづくり② (完成品)



みん・みんの会活動紹介 (同会河崎氏)



上松町地域おこし協力隊 PR① (パネル展示)



上松町地域おこし協力隊 PR② (PRムービー)